

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2470501293		
法人名	有限会社レモンの里		
事業所名	グループホーム・レモンの里		
所在地	三重県津市神納418-1		
自己評価作成日	27年1月25日	評価結果市町村提出日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/24/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=2470501293-00&amp;PrefCd=24&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/24/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=2470501293-00&amp;PrefCd=24&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	平成 27 年 2 月 10 日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

『健康とオープン』を基本理念とした、自由で豊かな暮らしの実現。 利用者も・家族も・職員も、介護の既成概念にとらわれない暮らし。 各人が自分の力を発揮し、ごく普通で自宅同様の暮らし。
--

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開所11年目の事業所である。建物の前には広いガーデンがあり、果樹、野菜、花が栽培されいつでも庭に出て散歩をかねて収穫や花見等楽しいひとときが過ごせるように様々な工夫がこらしてある。地域の方や他施設との交流も大切にし、利用者がいつまでも普通の生活を自由に思うままに継続してもらえるように家族と共に職員は支援にあたっている事が良く解る。
--

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	隣接地に事業所を新設するため、新理念を職員が協議して作成。具体的な理想を追求し、基本理念として活用するようにした。	グループホームとしての理念「健康とオープン」を大切に、名刺に印刷等して実践につなげている。本年度の新施設開所にむけて事業所理念について投票形式で意見を出してもらい協議中である。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区自治会長 神社の夏・秋祭礼・越年行事に参加。(利用者・職員) 認知症カフェの取組	開所後の様子を写真映像で説明される。地域の神社の夏秋祭り、地域交流コンサート、ガーデンパーティ、カフェの開催等、開かれた事業所として様々な事に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	交流コンサートを実施。 地域の福祉団体や奉仕グループの見学多数。 代表者・会長が各種研修の講師をしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議では、地域の自治会・老人会役員 の参加をいただき、活動記録写真やビデオで実際の活動を報告し、参加者の意見を聴取している。	年6回、定期的開催している。写真映像で活動報告をしており、状況がよく解り意見や提案もできる。参加者には地域のボランティアの参加もあり参加者との交流等協力関係が出来つつあり、いろいろな行事ができるようになった。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	三重短大等で講演・学生の見学・実習を受け入れ。 県社協の職場体験受け入れ。 県の行う研修会の講師。	運営推進会議の参加により意見や提案をもらう。市からの依頼で実習生の受け入れや講師依頼があつたりして積極的に協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	無施錠。精神科薬の不使用。日課の自由。 身体・言葉や薬による拘束を無くし、利用者が自由に行動している。職員が個々に意見を出し、検討会を行っている。	利用者がしたい事をしてもらい、利用者自身が納得できる環境作りをしている。(あえて危険であることでも見守りでしてもらう。)職員4人がビデオカメラを常時持っているのでヒヤリハット事例も写真映像で共有し検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員が、心穏やかに安心して働ける体制を作ることにより、虐待は防止できる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度説明会・三重県福祉セミナーなどに参加。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には親族に集まってもらい、十分な説明をしている。 事前に本人が来園見学し、一緒に食事をし、本人の希望を確認している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族からの希望に、NOと言わない体制を作り、ほとんどの事項を即時実行。 家族との関り(法事・旅行・外出等)を積極的に支援。	家族とは面会や交流会などで積極的に話し合い、なんでも相談してもらえる関係づくりを日頃からしている。家族からの外出支援の要望にも会長自身が付き添うなどして海外にも行っている。	利用者、家族の要望が積極的に伝える事が出来た、反映できる環境作りを常に考え工夫して居心地の良い事業所作りを継続してほしい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者、会長いずれかは、常にホームに居て、頻りに職員と意見交換を行っている。 原則、下位職員の意見を採用し、運営に反映させている。	日常的に会長や代表者がいるのでいつでも提案が出来る体制である。事案によっては投票形式で書面で提案内容を出し検討後反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年定期昇給。有給休暇の完全取得。昇格。 本年度は、代表・副代表への昇格を行った。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケアの方針などについて、職員からの書面での意見聴取も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	三重県地域密着型サービス協議会の役員。 阿漕苑・フルハウス・渚園・とのむら等交流。 各種講習会講師として交流。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	個人の希望を入所前に聞き取り、個別対応している。(通所サービスも活用して、馴染みの関係を作っている) 家族とも食事会などを通じ話し合っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の希望・本人の希望を徹底的に聞いている。 本人・ケアマネ・家族と事前に話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期対応時から、本人と家族の希望を叶えることを大切にし、話し合って実現している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と入居者、また入居者同士での支え合いが当然のように行われている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等では家族も一緒に準備をする。 家族の面会では、一切の制約を加えていない。 食事を一緒にしていただいている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の個人的な相談にも応じ、レモンの里がコア(核)として機能するようにしている。 友人・姉妹・子・孫・ひ孫、その配偶者等多岐にわたって面会に来られる。	家族、親族、友人の面会が多くある。又御美容院を利用したり、若い頃の思い出の場所を尋ね旅行をしたりと、関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者が個人として自由に暮らし制約が少なく、散歩・外出・などの時に互いに助け合っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	過去6年で7名の方の葬儀をホーム内で執り行った。(手作りの家族葬) 毎年合同慰霊祭を行っている。家族の方は行事にはボランティアとして参画している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自由に暮らすことで、本人の希望がスムーズに伝わってくる。(外出・食事・衣類・住環境等) 最終的には自然な形の看取り。(生まれた時の姿で死にたい・・・の実践)	自分らしく自由な暮らしを楽しんでもらう工夫から思いが伝わってくる。特に看取りの事例が出るとその様子から感じる何かを話題にし思いを把握することが出来る。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	介護施設にありがちな施設環境の枠を取り払い、半世紀前には当たり前であった生活様式を基本にしている。(葬儀・段差・食事・施設・火気・刃物・作物など)		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	最小限の身体介護と、最大限の環境整備に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	常に本人・家族・医師などと連携し、意見・計画の即時実行を原則としている。	個人サービスチェック表、毎日の経過記録等を職員で共有したり、ビデオ写真映像での観察記録でケース検討がされている。医師、家族との意見も入れ、最新のサービス支援としている。3カ月毎のモニタリングも実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者ごとに個別書式としている。 ケアの重点項目が把握しやすく、変化が良くわかるように記入方法を工夫している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護の範疇を超えた生活援助実施。 (国内、海外旅行・家族との外出、医療等) 自然な形の看取りをするための支援・サービス(普通食・スローフード・自力歩行等)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア多数。 神社・保育園・消防・リージョンプラザ・県文化会館・三重大学とも協力。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望を入れて、内科・整形など複数の診療機関で受診。 職員（責任者）が受診に付き添って医師との連携をとっている。 看取りの実践。（8名）	毎月協力医の往診があり、緊急時の対応もお願いしている。他科受診にも職員が同行し医師、家族と連携を取り適切な医療を受けられるように支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	非常勤看護師2名採用。一昨年2名の看取りを行った。 看護師が緊急対応できる体制をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時も職員の長時間付添・24時間付添などをおこない、医師とも相談し、早期退院が出来た。 入院による認知症進行も防止した。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	過去7年間で、当ホーム内で8名を看取った。 (他施設・病院へ行かずに・・・) (再掲:食事・自力歩行)(畳の上で死にたい・生まれた時の姿で死んでほしい)	昨年は2人の看取りを行った。早い時期から家族との話し合いを充分行い、医師・家族・職員の連携で終末期の支援や看取りをした。家族葬も利用者と一緒に事業所で行い家族からあつい信頼を受けている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員間で日常的に話し合い、訓練も行っている。 職員の気づきで急変時早期回復が出来た。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急避難用にビニールハウスを設置。 場所・経路も確認している。 正職員4名が500m圏内に居住し、緊急対応体制。近隣も協力。	避難訓練は実施している。スプリンクラー、緊急通報装置の設置で避難に備えている。火災と地震の災害が考えられるので対応については話し合っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個別介助。自由の保証。 個人として話すときは小声。 大声での話しかけをしないことで、誇りやプライバシーが守られる。	姉妹で利用している入居者には、2人の人格を尊重した支援をしている。職員は誇りやプライバシーを損ねない言葉かけに注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コンサート、墓参・法事など積極的に出席。 国内・外国等随時外出。（職員・家族・ボランティア同行） バリ島結婚式、横浜の米寿祝い。 施設用の買い物時にも利用者参加。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課を定めていない。 散歩・外出・家族旅行・家族との個別外食・喫茶店・歌・手芸・草取り・ゴミ出しなど仕事や遊びを取り入れている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	大多数が訪問理美容(サナエ美容室)を利用、2名がなじみの店に行っている。 染髪・爪切りなども実施。 外出機会多く、身なりに気をつけている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買出し、下ごしらえ、準備、片付け、など。 職員・家族・来客と一緒に食事。 刺身・もち・骨付魚など・・・全員が普通食・・・、ソフト、刻み、ミキサー食にしない。	買い物、準備、片付け等出来る利用者が職員と一緒にしている。全員が普通食で、硬い物、骨のあるもの等も提供している。各々が自分のペースで食べ、職員も一緒に食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者が自分の食べる量を決めている。 良質で食事意欲を高める食事作り。 (固い物・なま物・串物・自家栽培物) 全員が箸を使って食事をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後洗面所へ誘導し、口腔ケア。 毎週ポリデント。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	夜間のみポータブルトイレを1名使用、特殊汚物袋を使用。居室の便臭がなく、家族面会時にも快適。日中は全員がトイレを使用、自立を図っている。	日中は全員トイレでの排泄で、誘導や介助による自立支援をしている。夜間はポータブルトイレにてサニタクリーン(汚物袋)を使用している利用者もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘が精神状況の不穏や帰宅願望に繋がれることを理解している。 魚・野菜・肉を豊富にした食事をしている。散歩や日光浴にも取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個浴。マンツーマンの入浴。 一人ひとりお湯を替えている。 ゆったりと入浴を楽しんでいただいている。 (一人当たり45分から1時間)	週3回午後入浴である。一人一人お湯を入れ替えゆっくりと入ってもらう。ガーデンで採れたゆずでお湯を楽しんでもらう事もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間・起床時間は自由。 居室内温度は、その日によって外気温とすり合わせて調節している。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	良好な食事と環境整備により減薬している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家族旅行・家族との個別外食・喫茶店・買い物・ドライブ・歌・手芸・草取り・ゴミ出しなど仕事や遊びを取り入れている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	無断外出・喫茶店・買い物・家族との外出・ボランティアとの外出・ガーデンの散策・帰宅・宿泊など多様に対処している。(海外旅行・祭礼・コンサート)	周辺の散歩はスリッパのまま自由にしてもらっている。喫茶店、買い物など皆で出掛ける事もある。帰宅、旅行、法事等希望があればどこでも会長や職員の同行で家族と共に出掛けている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望により、小額の金銭を持っている。これは特に職員が管理せず、必要に応じ補充している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	居室に電話のある方2名。家族・友人に電話している。 年賀状作成支援をしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	介護施設らしくない住空間。 生花・観葉植物類が豊富。 自然環境に恵まれたガーデン。 天窗採光。	玄関の上がり框をスロープから段差のあるものにわざわざ改修して普通の生活に戻したが、転倒もなく利用者は工夫して出入りをしている。居間兼食堂からテラスに出てそこからガーデンに自由に出来る。昔懐かしい道具や置物などが玄関やテラスに置いてある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にも、プライベートな空間があり、落ち着ける。他の人と離れて過ごせる場所がある。ガーデンにも自由に出られる。 ホールの机も距離感を持って配置。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	5名が木製のベッド、3名が折畳ベッド、1名が介護ベッドを使用。居室の全てが個性的。 木製の家具を多用、施設らしくない居室づくり。	利用者の状態にあわせて木製のベットを工夫して使用している。どの部屋も思い思いの家具や本、位牌などが置かれて居心地よく落ち着いた部屋となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関のスロープを廃し、上がり框の段差を設け感覚的に安定させた。結果、玄関の転倒事故が無くなった。 空間認識がしやすい廊下。		